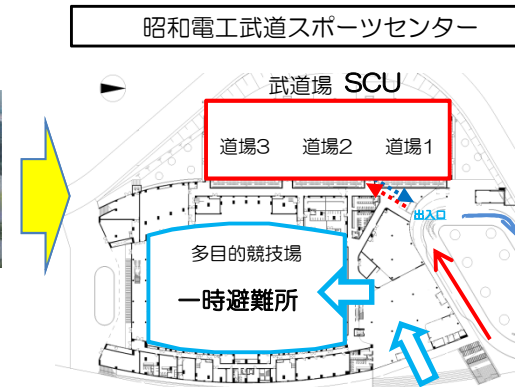


大分県広域防災拠点基本計画の修正について(概要)

1. 県立武道スポーツセンター新設に伴う修正 (平成31年4月完成予定)

○武道場をSCU (広域搬送拠点臨時医療施設) として活用

- ドーム地下2階会議室から移設
[武道場を3区画に分けて活用]
道場1…治療スペース (面積が従来の2.8倍 289㎡ → 804㎡)
道場2…DMAT-SCU本部
道場3…医療チーム (DMAT以外) の参集拠点 (新設)



○多目的競技場を一時避難所として活用

- 帰宅困難となった大分スポーツ公園利用者の一時避難所として、県立情報科学高校に加え、武道スポーツセンターの多目的競技場を活用。
→ 収容人数が従来の2倍 (約1,000人 → 約2,100人)

2. 熊本地震等の検証に伴う修正

○燃料補給体制の強化

- 緊急車両等への燃料補給体制を強化するため、大分スポーツ公園内の駐車場を臨時給油所として設定。
→ 国の「震災時等における危険物の仮貯蔵・仮取扱い等の安全対策及び手続きに係るガイドライン」に基づき、仮貯蔵・仮取扱い実施計画書を策定。



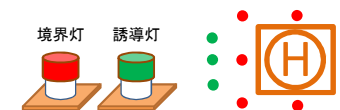
○支援物資輸送体制の強化

- 荷物を載せたまま人力で移動が可能なカゴ車等を整備し、支援物資輸送の全体効率化を行い、ラストワンマイル問題の解消を図る。

3. 防災訓練の検証に伴う修正

○ヘリポート用夜間照明設備の整備

- 夜間にヘリコプターによる傷病者及び応援部隊の受入ができるよう、移動式のヘリポート用夜間照明設備を整備。



4. 国の南海トラフに係る計画の改定に伴う修正

○支援物資関係の見直し

- 市町村の物資輸送拠点 → 市町村の地域内輸送拠点
- プッシュ型支援物資の見直し 6品目 → 8品目
(水、食料、毛布、粉ミルク、おむつ、簡易トイレ、トイレットペーパー、生理用品)

5. その他

○ネーミングライツ変更に伴う修正

- 昭和三十一年度大分ドーム (H31.3~)
(修正前: 大分銀行ドーム)

大分県広域防災拠点基本計画の修正について(配置図)

大分スポーツ公園の4つの機能

- ① 現地調整所機能(指令、調整、情報収集等)
- ② SCU機能(広域搬送拠点臨時医療施設)
- ③ 救援物資の集積・輸送機能
- ④ 応援部隊の進出・活動・宿営機能



周辺施設の活用

○来園者の一時避難所

→ 県立情報科学高校
来園者の車両は、県立情報科学高校及びC駐車場(新規)へ移動

④ 応援部隊の進出・活動・宿営機能

自衛隊: 昭和三電スタジアム(軟式野球場)
消防: テニスコート、多目的広場
警察: サッカーコート等 (B・C・Dコート)

昭和三電武道スポーツセンター(新規)



昭和三電ドーム大分

① 現地調整所機能

国の現地対策本部等
(旧SCU設置場所)



昭和三電ドーム大分

昭和三電 武道スポーツセンター

多目的競技場

武道場

平成31年4月武道スポーツセンター完成予定

ヘリポートに夜間照明設備
(移動式)を配備(新規)

ヘリポート

境界灯 誘導灯